

7/26 加西の豊かな自然を体験



▲参加者は、高野温子先生から植物標本の作り方を教わり、よくみる植物も日本古来の植物でないことに驚いていました。

7月23日から28日の間、善防公民館で「ひとくキャラバン in 加西」を開催し、延べ1260人が来館されました。

善防公民館は、オオクワガタの巨大模型や昆虫の標本が展示され博物館に変身しました。

天体観測や植物の標本づくりなど12講座が行われ、320人の親子が参加。子どもらは目を輝かせて、加西の自然を体験しました。

7/26 ものづくり企業の技術に驚き



▲消費電力も少なく、最大1トンの重量物を搬送できるパワーモータ（伊東電機が開発）を使用したローラーコンベヤ。

加西商工会議所は、地元企業への興味・関心を高めて、将来の就職活動に役立ててもらおうと、7月26日と8月9日に「夏休み産業・観光ツアー」を開催しました。

小学生の親子48組103人は、市内の(株)千石、伊東電機(株)、アイカハリマ工業(株)、是常精工(株)、ヨドブレ(株)、パンチ工業(株)兵庫工場を見学しました。

竹内夢さん（北条小4年）は「加西の会社を知ることができて勉強になりました」と話しました。

8/6 バレーボール、サッカーの全国大会に出場



▲左から三田井さん、浅田さん、松尾さん、藤原さん。

教育委員会は、北海道で行われた「全日本6人制バレーボールクラブカップ男子選手権」に出場した「PAOPAO組」の主将・藤原範久さん（30歳・北条町）、松尾一史さん（26歳・大工町）、浅田吉保さん（19歳・朝妻町）と、大阪府で行われた「全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権」に出場した「FC VICTORIES」の三田井七美さん（14歳・繁昌町）に、今後の活躍等を期待して文化・スポーツ賞賜金を贈呈しました。

8/9 長寿の秘訣は山登りや農作業



▲西村市長の訪問に喜ぶ上村さん（左）と山中さん。

西村市長が市内の女性最高齢者の上村はつさん（106歳）と男性最高齢者の山中謙次さん（101歳）を表敬訪問し、多年にわたり社会の発展に寄与されたことを感謝するとともに、長寿をお祝いしました。

上村さんは「夫婦で何度も信州の山に登りにいったこと」、山中さんは「農作業を100歳までして体を動かし、何にでも前向きに取り組むこと」と長寿の秘訣を語られました。

8/1 夏のわくわく科学実験



▲「夜の地球儀」から、世界各地の光エネルギーの使用量で、明るく輝く都市を観察する子どもたち。

丸山公園管理棟で、夏のわくわく科学実験『電気で遊び、電気で学ぶ』が開催され、小学生19人が参加しました。

講師の田先崇志さん（鴨谷町）から、乾電池やソーラーパネルなどの電力の種類によって、オルゴールの音量が変わることを教わりました。また、人工衛星が撮影した最新データを使い作られた「夜の地球儀」から、各国の資源エネルギーの使用量を観察しました。

8/2 甘さ抜群「加西ゴールデンベリー A」



▲岸呂町の集荷施設での出荷作業。

加西市特産のブドウ「加西ゴールデンベリー A」の出荷が始まりました。市内の約130軒の農家が生産しています。

今年のブドウは、天候もよく、適量の雨も降ったため、甘み・色づきともに申し分なく、おいしく仕上がっています。

出荷は9月中旬頃まで続き、かさい愛菜館（☎④8700）などで、2kg 2,000円前後で販売されています。

8/1～ 戦争を語り継ぐ「鶉野飛行場展」



▲戦闘機「紫電改」の模型展示。

鶉野平和祈念の碑苑保存会は8月1日から31日の間、アステシアかさいで「鶉野飛行場展」を開催しました。

鶉野飛行場のパネルや紫電改に搭載されていた機銃の実物大模型を展示。11日と18日には、同会の上谷昭夫さんが、次代を担う子どもたちに戦争のことを正しく伝えていこうと、「鶉野飛行場の歴史」「紫電改は加西でつくられた」と題して講演しました。

8/18 フラワーセンターに響きわたる音色



▲スペインの楽器「バンドウリア」を奏でるスペイン合奏団とKIMFマンドリンオーケストラが合同演奏。

加西市出身のマンドリン奏者・横田綾子さんを中心に活動する「KIMFマンドリンオーケストラ」とスペイン合奏団「ラ・オルデン・デ・ラ・テラーサ」が、フラワーセンターで演奏しました。

スペイン合奏団23人は「四重奏曲 ハ長調」など8曲を披露。ラストは、KIMFマンドリンオーケストラ19人と「初秋の唄」を合同演奏し、集まった観客500人は美しい音色に酔いしれました。